

山形・庄内冬紀行
山寺・蔵王・最上川コース

インフォメーション

- 日程……………1泊2日
- 交通……………往復：山形新幹線
- 出発日……………3月31日金まで
- 食事 夕食1回、朝食1回、昼食2回付き
- 宿泊……………く上山温泉月岡ホテル、村尾旅館、ホテル城戸口屋、く上山葉山温泉はたこの心 橋本屋、糸屋ホテル、彩花亭 時代屋、く天童温泉天童ホテル、滝の湯ホテル、ホテル王将
- 旅行代金……………東京駅発着 おとなお1人様 36,500円～44,700円

スケジュール

- 1日目…東京→(山形新幹線)→山形→(びゅうバス山寺・蔵王号)→山寺(風雅の国にて昼食)・蔵王(ロープウェイで山頂へ)→上山温泉(泊)または天童温泉(泊)
- 2日目……………上山温泉・天童温泉→(びゅうバス最上川号)→古ロー最上川舟下り(昼食)→草薙・紅花資料館→山形→(山形新幹線)→東京

湯野浜・最上川・天童コース

インフォメーション

- 日程……………2泊3日
- 交通……………往路：上越新幹線・特急列車 復路：山形新幹線
- 出発日……………3月31日金まで
- 食事 夕食2回、朝食2回、昼食1回付き
- 宿泊……………く湯野浜温泉ホテルニュー湯の浜リゾート、ホテル海山、ホテル満光園、亀屋ホテル、シーサイドホテルいさごや、く天童温泉天童ホテル、滝の湯ホテル、ホテル王将
- 旅行代金……………東京駅発着 おとなお1人様 43,000円～51,300円

スケジュール

- 1日目……………東京→(上越新幹線)→新潟→(特急列車)→鶴岡→(会員バス)→羽黒山五重の塔・羽黒山(昇殿参拝)出羽ノ雪酒造資料館→湯野浜温泉(泊)
- 2日目……………湯野浜温泉→(会員バス)→本長濱物・致道博物館・古ロー最上川舟下り(昼食)→草薙→(びゅうバス最上川号)→紅花資料館→天童温泉(泊)
- 3日目……………天童温泉・フリータイム→(お客様負担)→山形→(山形新幹線)→東京

共通のご案内

- *おとな2名様以上で
- *お申し込み下さい。(最少催行員2名)
- *旅行代金には、往復のJRの運賃・料金、宿泊代、会員バス代、各種入場料金、旅行取扱料金、消費税等諸税が含まれています。
- *添乗員は同行いたしません。
- *詳しい旅行内容・条件等はパンフレットでご確認ください。
- 問い合わせはびゅうプラザへ(JR東日本旅行センター)
- 主催 東京都知事登録 国内旅行業第2743号 東日本旅客鉄道株式会社 東京都千代田区丸の内1-6-5



江戸末期に京都の土、漢沢長四郎が、京都嵯峨人形の手法により、木型に和紙を打ち込んで、面や人形などの山形張子を作った



霞城公園の中でひとときわ日をひく西洋建築の山形市郷土館。明治11年に建てられたかつての市立柳田泉生館本館を移築した

山形

西洋建築の残る街
名作「おしん」のイメージの中の「山形」とは違う、ちよつとハイカラな「山形」のお話をしましょう。正月のおとそ気分のためやらぬ今、外は一面の銀世界。目



文 西條順子

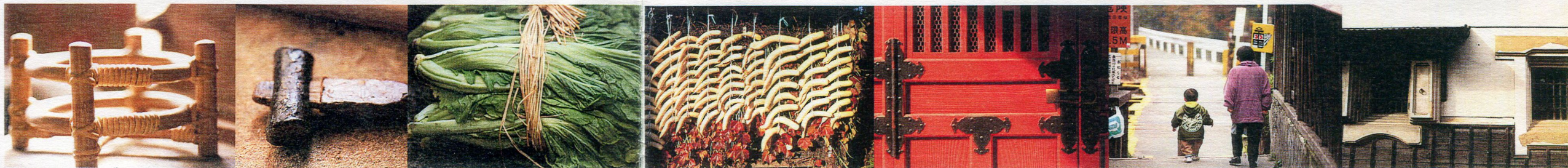
さいじょう じゆんこ 1955年、宮城県生まれ。東海大学卒業。小説『ムラの男は眠れない』で、第38回地上文学賞受賞。随筆家。

を閉じて空想の世界へしばし時を忘れて旅をしませんか。
時は幕末から明治。日本という国が鎖国の長い眠りから目覚め、新しい国づくりを目指した時代、山形に一人の男が登場することで、一気に近代化の波が地方都市を揺さぶることになった。その一人の男こそ、初代山形県令となった三島通庸(一八三三～一八八八)その人である。薩摩藩士の子として生まれ、名は弥兵衛。幕末期、尊王討幕運動に参加し、維新後は大久保利通の信任を受けての着任だった。三島は在位期間(一八七六～一八八二頃)の中で、戊辰戦争の結果に鑑み、軍事道路の整備と産業開発の基本となる交通路の開発に、その辣腕を発揮した。道路網の開発は、地理的条件や封建体制の克服を目指し、ひいては県民に最大の利益と福祉の向上に繋がる、という強い信念からであった。また、当時としては珍しい都市計画による官庁街の整備を行い、しかも全て洋風建築にせよという命令のもと、師範学校・済生館病院・郡役所・警察署などの建設にも力を注いだ。当時の街の様子は、高橋由一が描き残した絵によってしのぶことができる。その風景は、実に整然とした異国風のたたずまいである。
山形大火で焼失した建物

も多いが、現存する建物もいくつかある。その一つが、旧済生館本館(現山形市郷土館・重要文化財)で、明治十一年に完成した東北初の医学教育機関であり、後に病院となった建物である。本館正面は高さ二十四メートルの三層楼になっており、建物の真上から見ると、三層楼の背後に十六角形のドーナツ形をした円形回廊が隠れているという。擬洋風建築の特徴ともいわれる木造下見張りの最高作といわれ、錦絵のモデルにもなった。現在は、市民のいこいの場である霞城公園内に移築されている。
旧山形師範学校本館(現県立博物館教育資料館・重要文化財)は、ルネッサンス風木造二階建てで、左右対称形で屋根の中心に櫛形、両端には切妻形の飾り破風がある。館内の床と天井板は、斜めに逆方向に張られ、耐震構造になっている。そ

して市の中心部のT字路正面には、山形県旧県庁舎(重要文化財)と隣接して旧県議会議事堂(重要文化財)がある。共にイギリスルネッサンス様式で、表側には石張り、屋根はスレート葺で明かり窓(ドーマー窓)が設けられている。中央正面の屋根は寄棟造りで、その上の時計台の時計は今も正確に時を刻んでいる。この時計は、イギリスより輸入され、札幌時計台に次ぐ古さと規模を誇る。共に修復工事とはほぼ終わり、今年公開の予定である。
在任中、三島は、その仕事の内容の豊富さと巨大事業の成功により「鬼県令」とも「土木県令」とも称されており、恐れられ、かつ尊敬されていた。明治という新生日本の台頭期ならではの人物である。
さて、山形の冬の夜は、郷土料理と地酒の夜でもある。

旅の歳時記 | 撮影・絵鳩正志 第40回



山形には、さまざまな伝統が息づいている

室町時代から続く城下町の山形。生活の中にも、歴史の深さと広さを感じさせる